

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。

ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。

保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- 取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています

**警告**

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

**注意**

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

- お守りいただく内容を示しています

**禁止**

「行ってはいけない」内容です。

**必ず守る**

「行わなければならない」内容です。

注意

●組立および設置時の注意

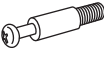
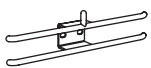
必ず守る	組立、設置、移動は2人以上で行ってください。移動する時は引きずらず持ち上げて運んでください。 →ケガをしたり、破損したり、建物の内装を傷つける恐れがあります。
禁止	組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。 →ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。
必ず守る	水平で平滑な床面に設置してください。 →不安定な場所に設置すると、がたついたり転倒や引出しの開閉に支障が出る恐れがあります。
禁止	説明書に記載されている組立パターン以外の組立や改造等はしないでください。 →破損してけがをする恐れがあります。
必ず守る	転倒防止金具が付属されている書棚等を単独で使用する場合、必ず転倒防止金具を使って書棚を壁または柱などへ固定してください。 →転倒して破損したり、けがをする恐れがあります。
禁止	直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。 →変形、変質、退色の原因となります。
必ず守る	組立のパターンによって使用しない部品や部材が残る場合があります。 →紛失しないよう大切に保管してください。

- 天然木の製品は木目柄、色に多少のばらつきがあります。
- このため展示品とお届け品では木目柄、色が異なる場合があります。

マルチラック 【品番】 ●SDB-061 NS ●SDB-161 WT

1 組立て方法

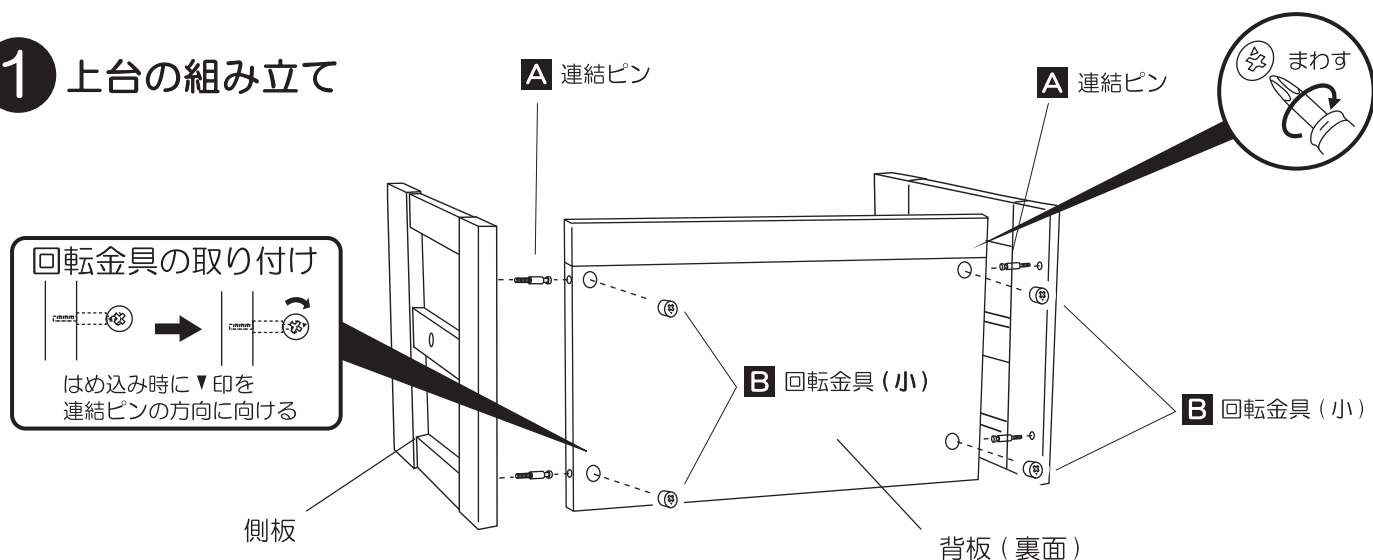
■付属部品

A 連結ピン	B 回転金具 (小)	C 回転金具 (大)	D キャスター(4個入り)	E 棚ダボ	F ランドセルハンガー	G ボルト (M6×16)
SZC8MB605	GKUTMKK15	S2C8MKN18	SZCTWC90G	SZCTTD850	TIT4KFRAN	KSK6BJ616
						
×8	×4	×4	×1 セット	×8	×1	×2
H カバンフック	I ボルト(M6×25)	J ナット用キャップ	ふた部材		バックボード	
SZC4KF20V SZC4KF20R	KSK6BW625	SZC4DC17V SZC4DC17R	ふた部材	棚ダボ SZCTTD850	バックボード YDG5BBWHT	バックボードシート
						
×2	×2	×2	×1 ×1 セット	×1	×1 ×1 セット	×1

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
 ※ナット用キャップ・カバンフックは、上段がNS色用、
 下段がWT色用の部品品番となります。

①小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
 →お子様が飲み込むことがあります。

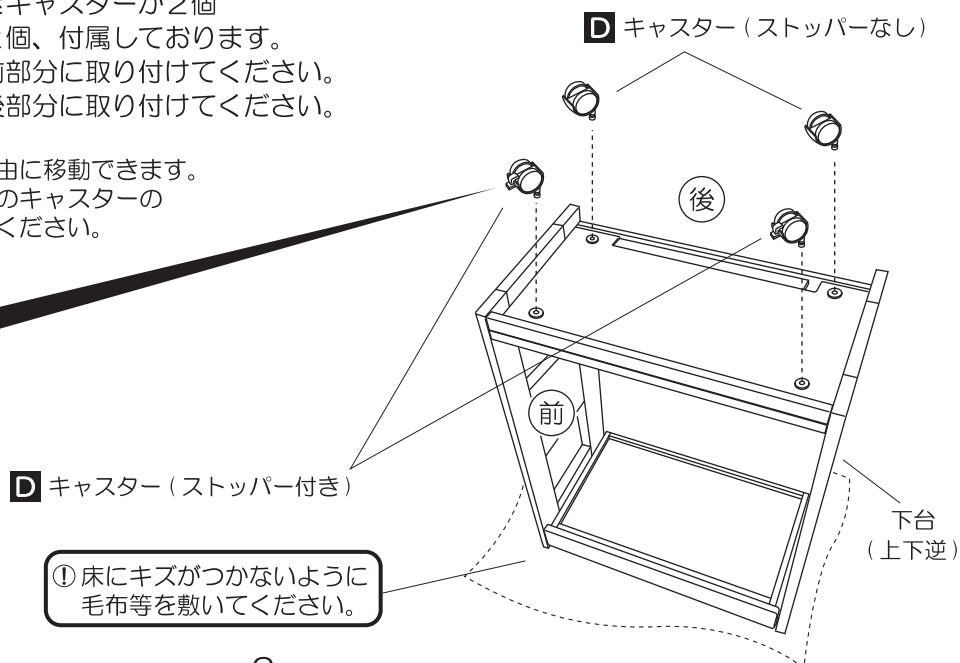
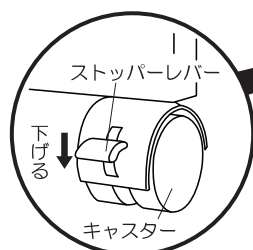
1 上台の組み立て



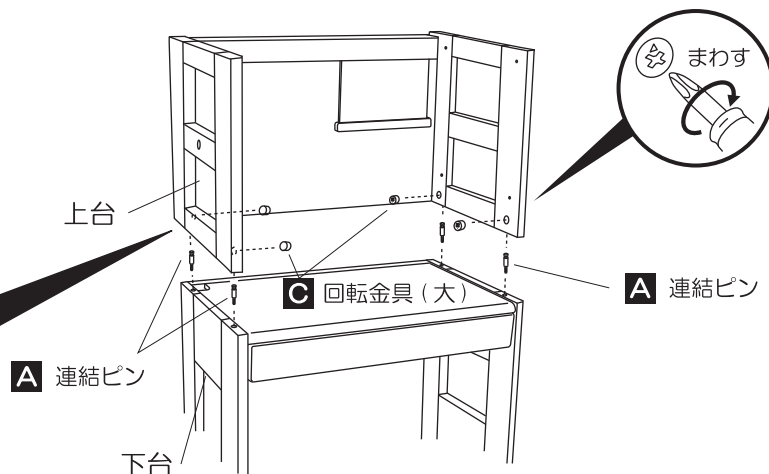
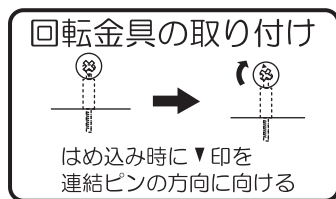
2 キャスターの取り付け

キャスターは、ストッパー付きキャスターが2個
 ストッパーなしキャスターが2個、付属しております。
 ストッパー付きキャスターは前部分に取り付けてください。
 ストッパーなしキャスターは後部分に取り付けてください。

- ワゴンキャスターにより、自由に移動できます。
- 移動を止めたい時は、前方両端のキャスターの
 ストッパーレバーを押し下げてください。



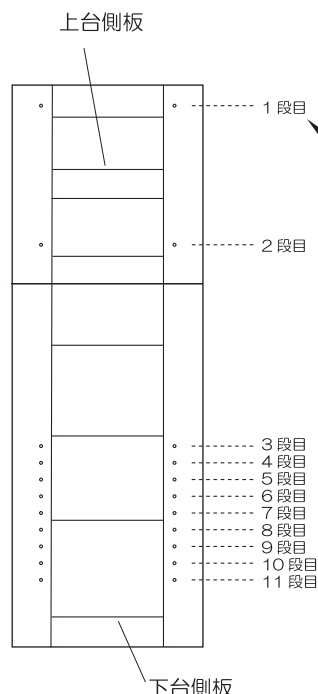
③ 上台と下台の組付け



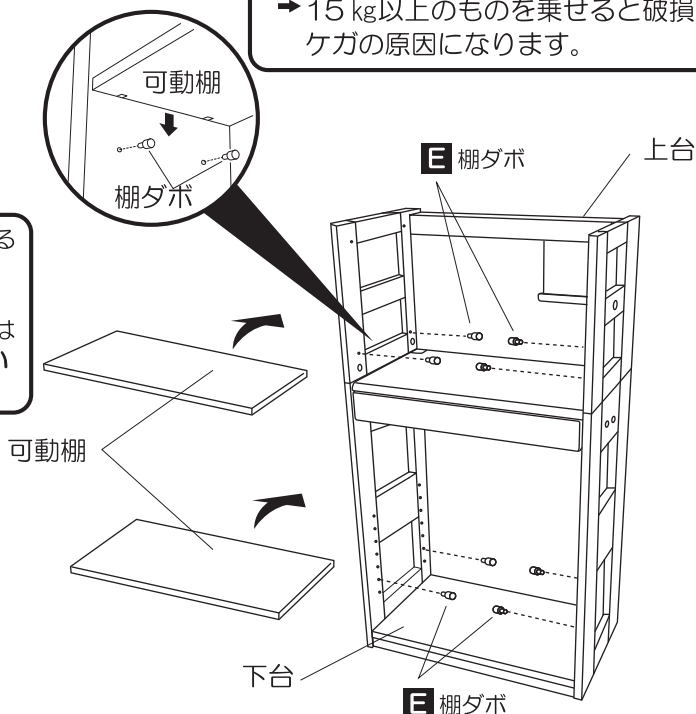
2 可動棚の取り付け

可動棚は上台に2段、下台に9段の付け位置があります。
その中から2段選び、ご使用ください。

① 可動棚の耐荷重は15 kgです。
→ 15 kg以上のものを乗せると破損や
ケガの原因になります。



可動棚を上台天板として使用する
場合は1段目の位置に可動棚を
取り付けてください。
バックボードを使用しない場合は
P5のバックボードを使用しない
場合を参照ください。



3 可動仕切り板の取り付け

可動仕切り板は下台天板・可動棚・地板に取り付けることができます。

① 可動仕切り板を取り付ける際は、可動棚の上に物が
のっていないことを確認してください。

※可動棚を上台天板として取り付けした場合、
可動棚への可動仕切り板の取り付けは出来ません。

可動仕切り板

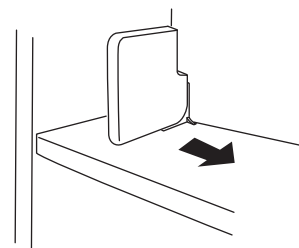
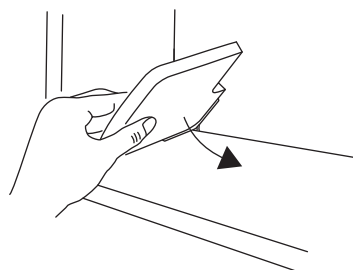
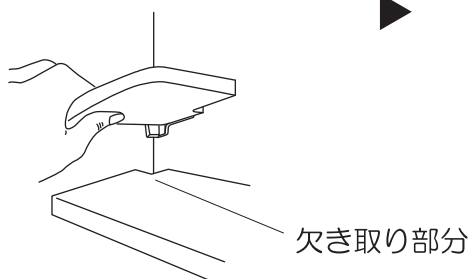


×5

① 棚の左後角の欠き取り部分に
樹脂パーツを寝かせた状態で
差し込んでください。

② 差し込んだ状態で可動仕切
板を垂直におこして上固定
棚にはめ込んでください。

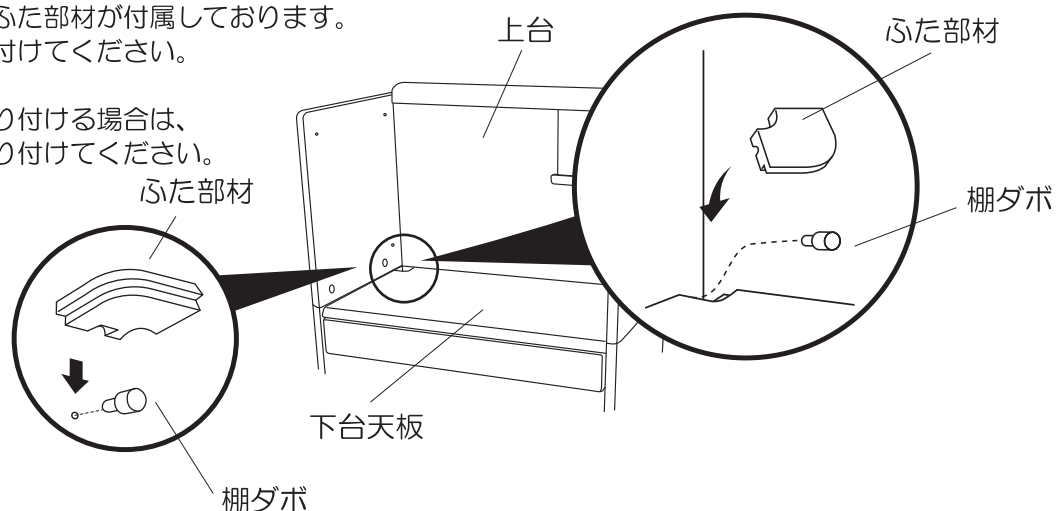
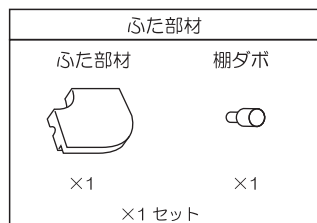
③ 横にスライドさせて使用して
ください。



4 ふた部材の取り付け

下台天板には欠き取り部分用のふた部材が付属しております。
棚ダボを使ってふた部材を取り付けてください。

※下台天板に可動仕切り板を取り付ける場合は、
ふた部材を取り付ける前に取り付けてください。

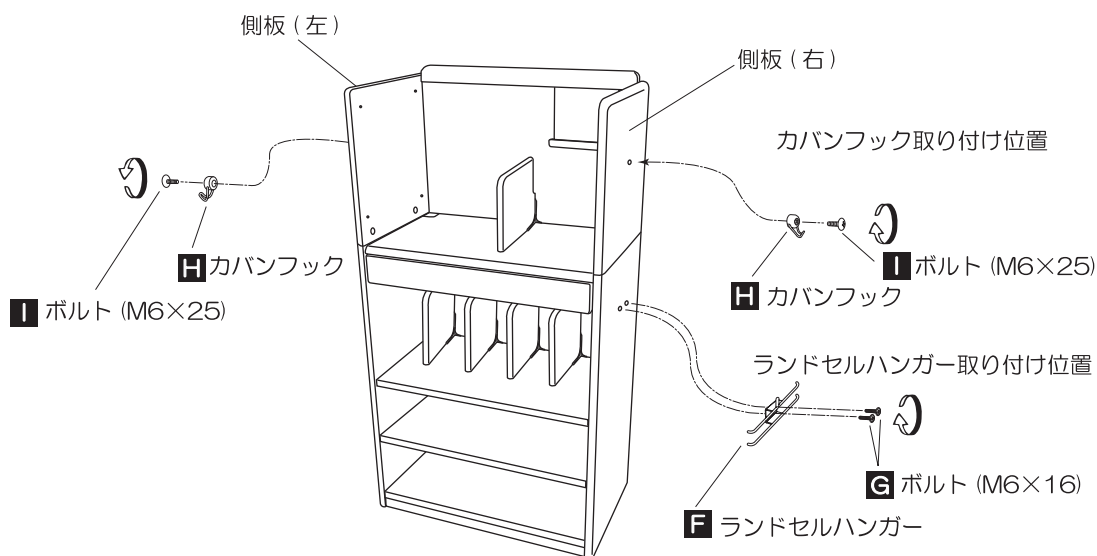


5 ランドセルハンガーとカバンフックの取り付け

■ランドセルハンガーとカバンフックの取り付け

ランドセルハンガーは側板左右どちらでも、
取り付けることが可能です。

❗ ランドセルハンガー・カバンフックは
それぞれ耐荷重 10kg です。
➡ 10kg以上のものを掛けると破損やケガの
原因になります。



6 バックボードの使用方法

■バックボードの使用方法

バックボードは透明フィルムとホワイトボードの2枚から構成されています。

透明フィルムとホワイトボードの間に付属のバックボードシートをはさみ、透明フィルムの上からアルコール性インキのペンで書き込んでご使用ください。

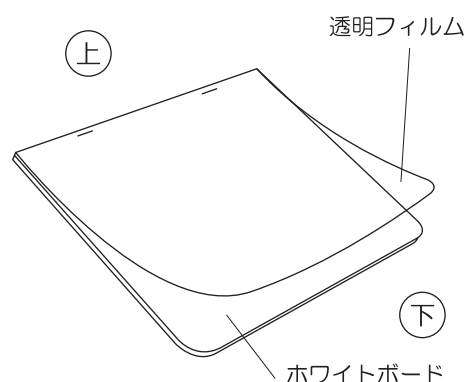
※アルコール性インキ以外のペンを使用した場合、拭いてもインキが取れない場合があります。

※インキが付着して長時間放置すると、インキ汚れが落ちにくくなる場合があります。落ちにくい場合はアルコールや薄めた中性洗剤で拭きとってください。

⊗ シンナーやベンジンの使用は避けてください。
➡ 透明フィルムが溶ける原因になります。

※ホワイトボードへはインキでの書き込みは出来ません。

＜バックボード＞

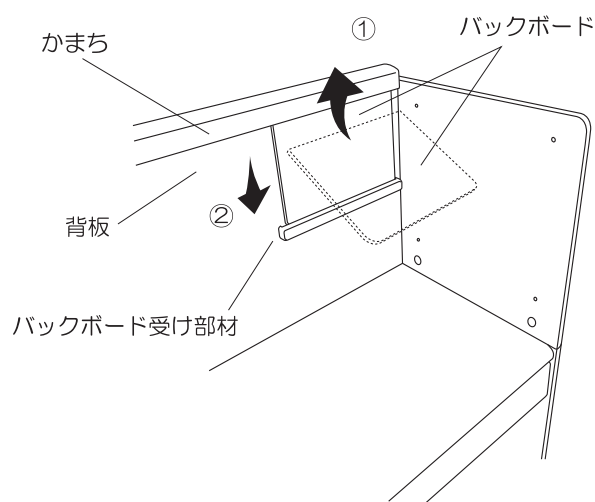
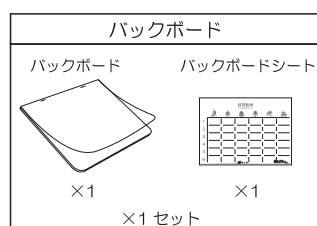


■バックボードの取り付け

① かまち下部にある溝にバックボードを押し入れてください。

② 上に押し上げた状態で背板にあて、そのまま下にずらしながら、バックボード受け部材の溝にはめて込んでください。

※取りはずしの際は取り付けとは逆の手順で取りはずしてください。



■バックボードシートの使用方法

バックボードシートの表は「時間割表」裏は「なんでもメモ」となっております。用途に合わせて使用する面をお選びください。

時間割表を使用する場合は、バックボードをラックから取り外した状態で書き込み、その後ラックに取り付けると使用しやすくなっております。

＜バックボードシート＞

表
(時間割表)



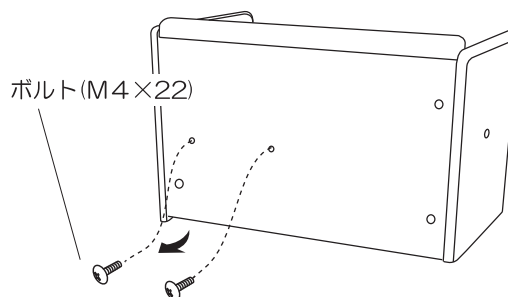
裏
(なんでもメモ)



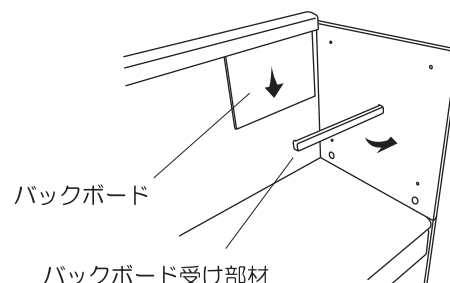
■バックボードを使用しない場合

バックボードを使用しない場合は、バックボード及び、バックボード受け部材を取り外すことができます。

上台背板の背面からボルト (M4×22) 2個を取り外してください。



バックボードをそのまま下に引き抜いてください。



7 コードブッシュの使用方法

棚板にプリンターなどの電化製品を設置する場合は、左後角の欠き取り部分をコードブッシュとしてご使用ください。

下台天板
欠き取り部分

地板
欠き取り部分

可動棚
欠き取り部分

背板
欠き取り部分

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features approximately 28 horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for handwriting practice. The lines are light gray and extend across the entire width of the page. There is no text or other markings on the paper.

[illegible]